



岡田生花店
 ベルポート汐入店
 営業時間AM10～PM7時
 水曜定休
 TEL・FAX 3802-8716

9月になりトンボが飛ぶなど少しづつ秋の気配を感じるころになりました。

集中豪雨など自然災害が今年には特に多いような気がします。人間の力は自然の力に比べれば些細なものだと思ひ知らされます。今までなかったようなことがたびたび起きるので“このくらいなら大丈夫”と過信せず身の回りの変化には気を付けておきたいですね。

9月は色々な行事があるので少しづつお話ししたいと思ひます。

9月9日5節句の一つの“重陽の節句”です。起源は中国です。中国では奇数が縁起の良い陽の数といわれ一番大きな数字の9が重なる9月9日を重陽の節句としてきました。重陽の節句は旧暦に直すと今の10月ごろになり菊の花がたくさん咲く時期だったこ

とから別名“菊の節句”とも呼ばれています。

また、農村では栗の収穫時期でもあるため栗の節句とも呼ばれていました。

9月15日は敬老の日です。

10年ほど前は9月15日と決まっていたが、平成15年からは9月の

第3月曜日に変更されました。

敬老の日は、兵庫県にあった村の

村長と助役が昭和22年に提唱した

“としよりの日”が始まりです。

“老人を大切にして年寄りの知恵を借りて村を作ろう”というのが始まりです。

農閑期で季節のよい9月の中旬ごろ

を年寄りの日と定め敬老会を開いて

いました。これが全国に広まって昭和39年に国民の祝日として制定されました。敬老の日は日本独自のもので諸外国にはありません。

秋のお彼岸、9月の秋分の日を挟んで前後3日間の一週間が秋のお

彼岸です。この時期に供養をする

と極楽浄土へ行くことが出来ると言われて

います。お彼岸の時期は天気も良く行楽を兼ねてお墓参りにいかれる方が多いです。

荒川消防署からのお知らせ

9月9日は救急の日！

平成25年中の東京消防庁管内における救急出場件数は、3年連続で70万件を超え、1日平均2052件、42秒に1回の割合で救急車が出場していることになりました。

「救える命」を救うためにも、救急車は緊急性のあるときに利用していただく必要があります。

◆病院へ行く？救急車を呼ぶ？

急な病気やけがで迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。24時間・年中無休で、相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が対応しています。

東京消防庁救急相談センター

井71119（携帯電話・PHS・プッシュ回線）

03（3212）2323

（その他の電話、または繋がらない場合）

※緊急性があると思われる場合は、

ためらわず救急車（119番）をお呼びください。

荒川消防署

TEL (3806) 0119



南千住警察署よりお知らせ

◆秋の全国交通安全運動（9月21～30日）子どもと高齢者の事故防止

1 夕暮れ時と夜間の歩行中の交通事故防止

・ 反射材を着用しましょう。

・ 夕暮れ時と夜間の走行時は、必ずライトを点灯しましょう。

・ 歩道では歩行者優先で車道寄りを徐行しましょう。

2 全ての座席のシートベルトとチャイルド

シートの正しい着用の徹底

・ 交通事故の際に車外放出や同乗者に衝突するなどの危険性があります。

・ 体格に合う座席に確実に固定できるチャイルドシートを着用しましょう。

3 飲酒運転等の根絶

・ 飲酒運転や危険ドラッグ等を使用している

運転は、重大事故につながります。

・ 酒酔い及び酒気帯び運転は厳しく罰せられます。

4 二輪車の交通事故防止

・ 交差点を右折するドライバーは直進する

二輪車に気付かない場合があります。

・ 交差点では優先意識を持たず、しっかりと減速し、安全運転しましょう。

・ ヘルメットのあごひもを確実に結着し、プロテクターを身につけましょう。

☆「荒川区交通安全のつどい」

・ 9月13日（土）午後2～4時

場所 サンパール荒川

参加人数 先着千名（指定席は事前申込み）

・ アトラクション 歌手 クミコ

警視庁音楽隊&カラーガード

南千住警察署 交通総務課

TEL (3805) 0110 内線 4112

